

# 亀岡市高齢者等実態調査の結果について

## 調査の概要

### 1 調査目的

本調査は、第9期亀岡市介護保険事業計画を包含する「亀岡市いきいき長寿プラン」を策定するにあたり、高齢者等の生活実態をはじめ、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズ、健康づくりや生きがいがいづくりに関する意識などを的確に把握し、「亀岡市いきいき長寿プラン」に反映させる基礎資料として活用するために実施しました。

### 2 調査の実施について

#### (1) 対象者

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	令和4年11月1日現在で65歳以上の高齢者の中から層化抽出（市内3圏域）
在宅介護実態調査	令和4年11月1日現在で65歳以上の高齢者、及び第2号被保険者で、在宅の介護保険サービス利用者から層化抽出（市内3圏域） ※調査票には、A票とB票が含まれ、A票は本人（調査対象者）が回答、B票は主な介護者が回答

#### (2) 実施方法

郵送配布・郵送回収

（※在宅介護実態調査では、認定調査員による対面聞き取り調査を一部実施）

#### (3) 実施期間

令和4年12月13日（火）～12月28日（水）

#### (4) 有効回答件数及び回答率

	配布数	有効回答数	有効回答率
介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,250件	1,399件	62.2%
在宅介護実態調査	625件	343件	54.9%

#### (5) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

- 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
- 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 複数回答の場合、図中にMA（Multiple Answer＝いくつでも）、3LA（3 Limited Answer＝3つまで）と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている場合がある。
- 各種リスクの非該当には判定不能も含む。
- 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

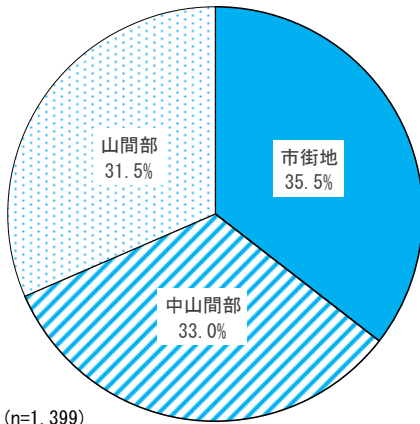
## 2. 回答者の属性（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

### (1) 圏域、年齢、性別

#### 【全体】

- 圏域について、「市街地」が 35.5%で最も多く、次いで「中山間部」が 33.0%、「山間部」が 31.5%となっています。

#### 【圏域】



圏域	該当地域
①市街地	亀岡地区、大井町、千代川町、篠町、東つつじヶ丘、西つつじヶ丘、南つつじヶ丘
②中山間部	曾我部町、吉川町、蕨田野町、馬路町、旭町、千歳町、河原林町、保津町
③山間部	東別院町、西別院町、本梅町、畑野町、宮前町、東本梅町

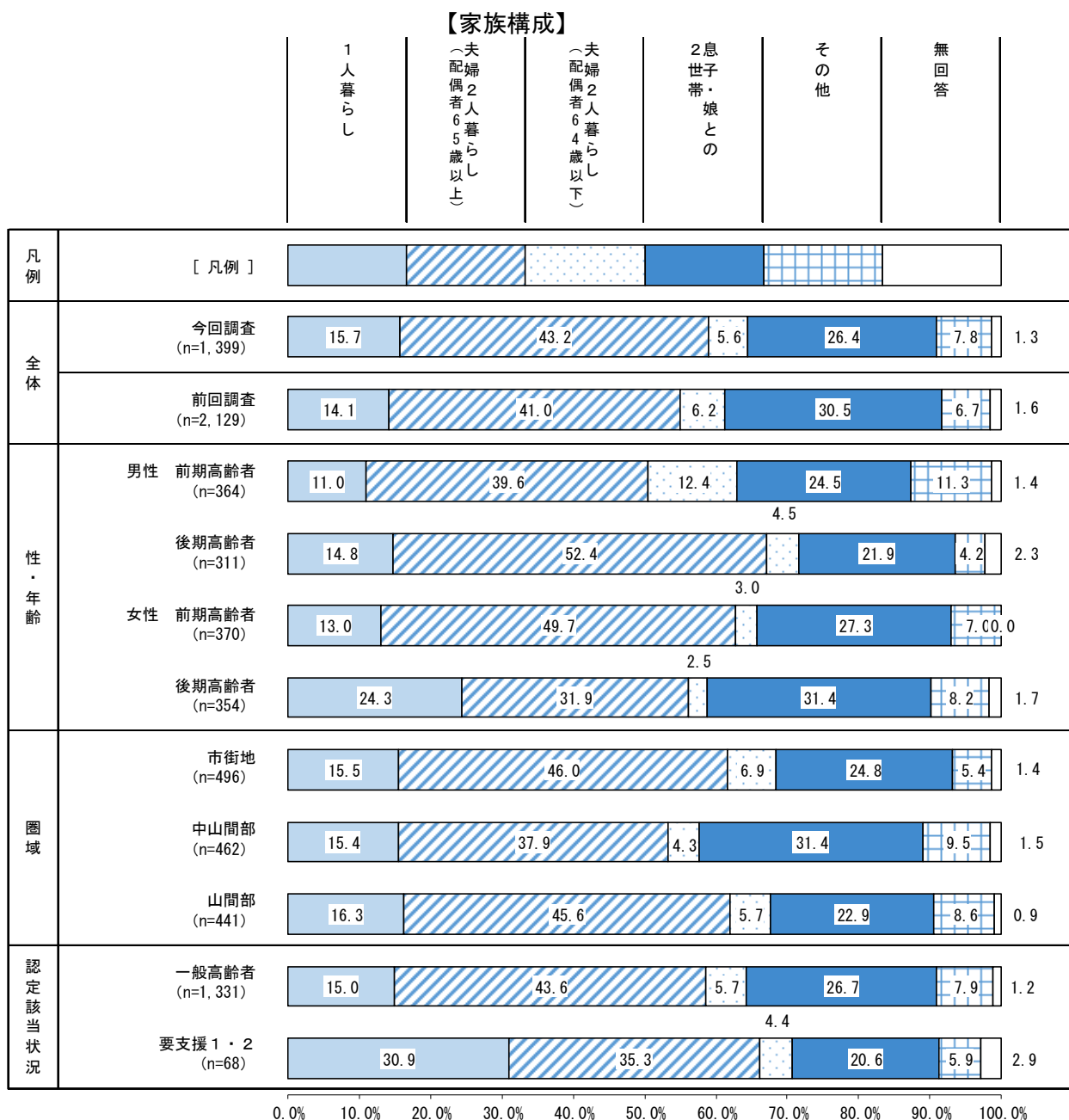
上段：人数 下段：割合（%）

	65～69 歳		70～74 歳		75～79 歳		80～84 歳		85 歳以上	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
市街地 (n=496)	64	69	75	80	41	73	31	29	18	16
	12.9	13.9	15.1	16.1	8.3	14.7	6.3	5.8	3.6	3.2
中山間部 (n=462)	59	44	64	56	53	50	36	41	26	33
	12.8	9.5	13.9	12.1	11.5	10.8	7.8	8.9	5.6	7.1
山間部 (n=441)	47	49	55	72	48	44	35	37	23	31
	10.7	11.1	12.5	16.3	10.9	10.0	7.9	8.4	5.2	7.0

### 3. 調査結果（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

#### （1） 家族構成

- 【全体】**
- 家族構成について、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が43.2%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が26.4%、「1人暮らし」が15.7%となっています。
  - 前回調査と比べて、「1人暮らし」「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が多くなっています。
- 【性・年齢】**
- 「1人暮らし」は男性 後期高齢者が14.8%、女性 後期高齢者が24.3%と女性で多くなっています。
- 【圏域】**
- 中山間部は「息子・娘との2世帯」が31.4%と多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「1人暮らし」は一般高齢者では15.0%、要支援1・2では30.9%と約2倍になっています。



## (2) 生活機能評価

### ●運動器の機能低下リスク

以下の設問に対して5問中3問以上該当する場合に『運動器の機能低下』のリスク該当者と判定している。

設問	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	できない
15分位続けて歩いていますか	できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある/1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	とても不安である/やや不安である

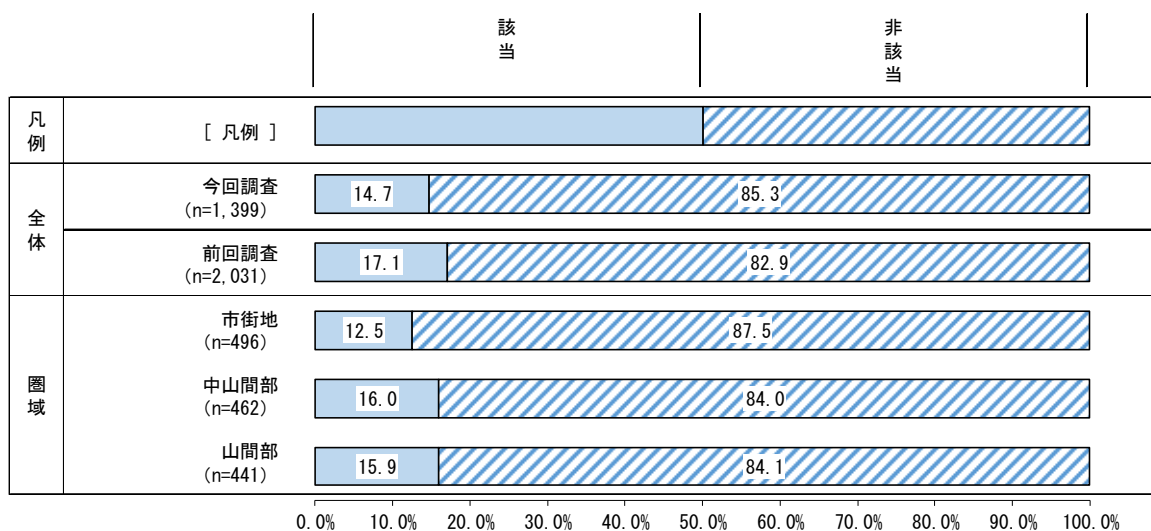
#### 【全体】

○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が14.7%、「非該当」が85.3%となっています。

#### 【圏域】

○ 「該当」は市街地が12.5%と他の区分に比べてやや少なくなっています。

#### 【運動器の機能低下リスク】



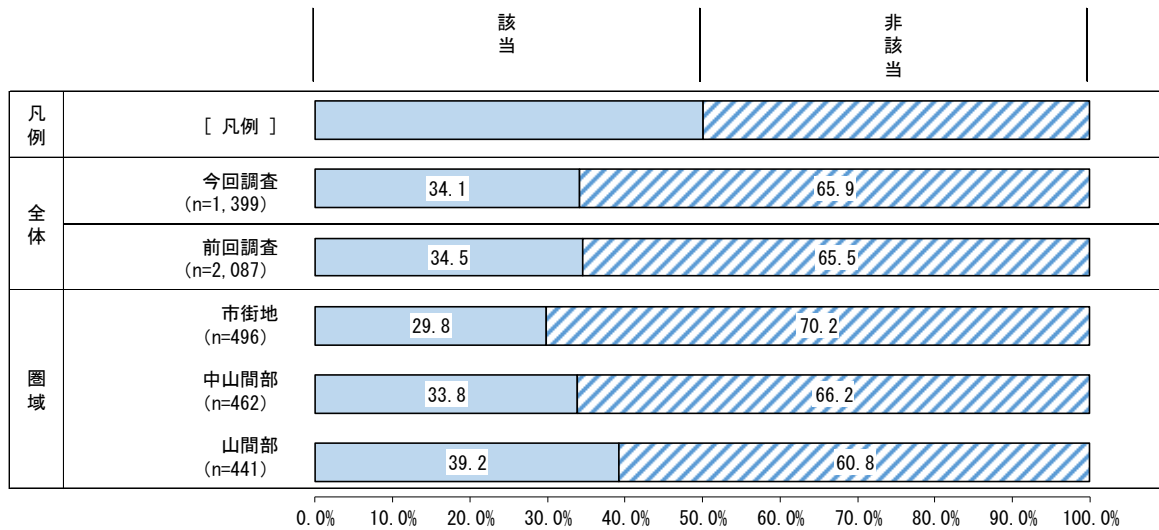
●転倒リスク

以下の設問に対して該当する場合は、『転倒』のリスク該当者と判定している。

設問	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	何度もある／1度ある

**【全体】**  
 ○ 転倒リスクについて、「該当」が34.1%、「非該当」が65.9%となっています。  
**【圏域】**  
 ○ 「該当」は山間部が39.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【転倒リスク】



●閉じこもりのリスク

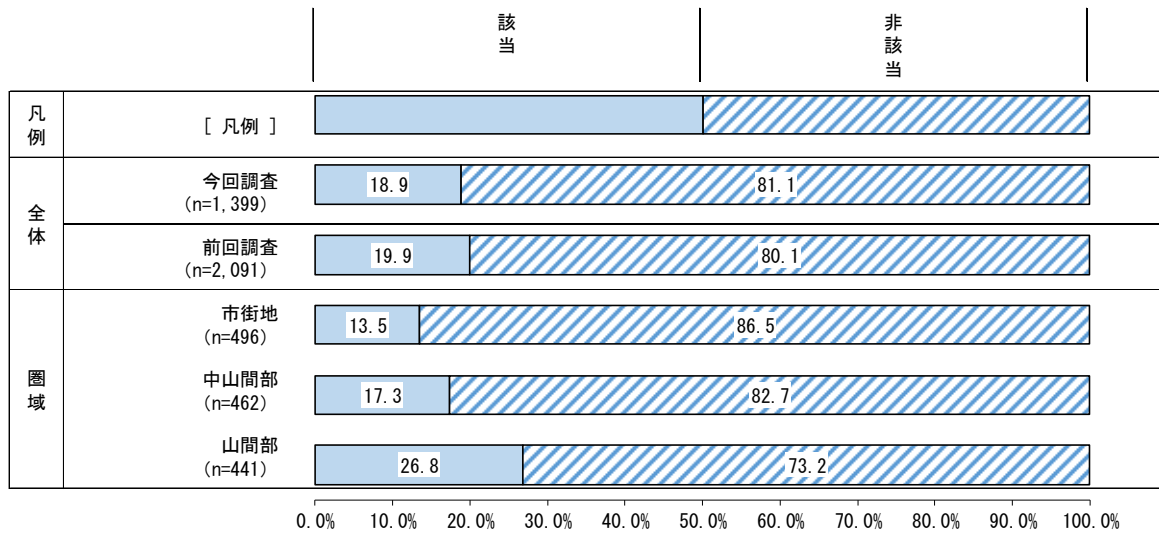
以下の設問に対して該当する場合は、『閉じこもり』のリスク該当者と判定している。

設問	選択肢
週に1回以上は外出していますか	ほとんど外出しない/週1回

**【全体】**  
○ 閉じこもりのリスクについて、「該当」が18.9%、「非該当」が81.1%となっています。

**【圏域】**  
○ 「該当」は山間部が26.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【閉じこもりのリスク】



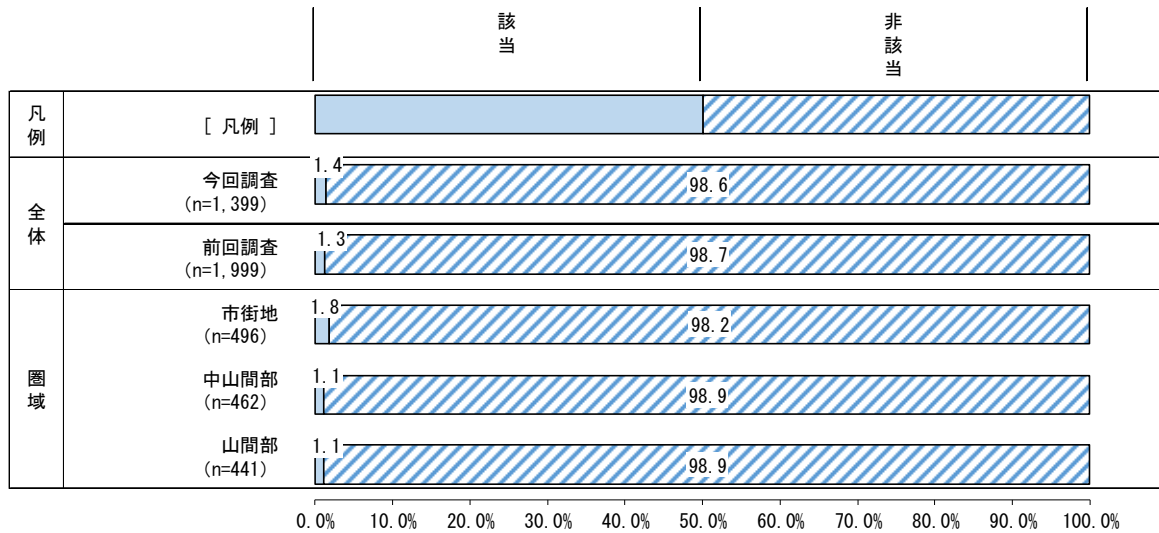
●低栄養のリスク

以下の設問に対して2問中2問該当する場合は、『低栄養』のリスク該当者と判定している。

設問	選択肢
身長・体重から算出されるBMI (体重 (kg) ÷身長 (m) <sup>2</sup> )	18.5未満
6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	はい

**【全体】**  
 ○ 低栄養のリスクについて、「該当」が1.4%、「非該当」が98.6%となっています。  
**【圏域】**  
 ○ 「該当」は市街地が1.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【低栄養のリスク】



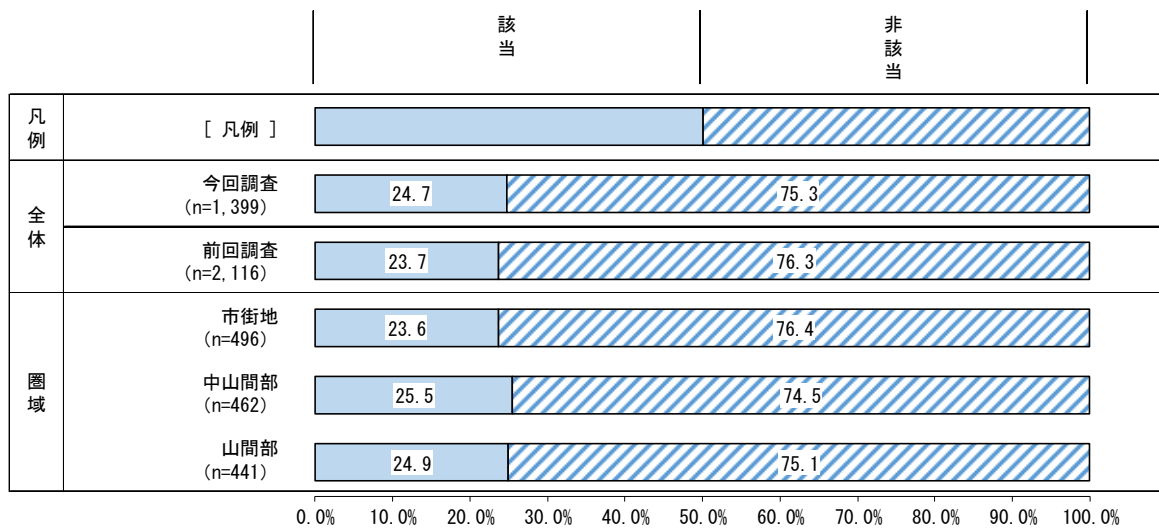
●口腔機能の低下リスク

以下の設問に対して3問中2問該当する場合は、『口腔機能の低下』のリスク該当者と判定している。

設問	選択肢
【咀嚼機能低下】半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	はい
【嚥下機能低下】お茶や汁物等でむせることがありますか	はい
【肺炎発症リスク】口の渇きが気になりますか	はい

<p><b>【全体】</b> ○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が24.7%、「非該当」が75.3%となっています。</p> <p><b>【圏域】</b> ○ 「該当」は市街地が23.6%と他の区分に比べて少なくなっています。 ○ 「非該当」は市街地が76.4%と他の区分に比べて多くなっています。</p>
---

【口腔機能の低下リスク】





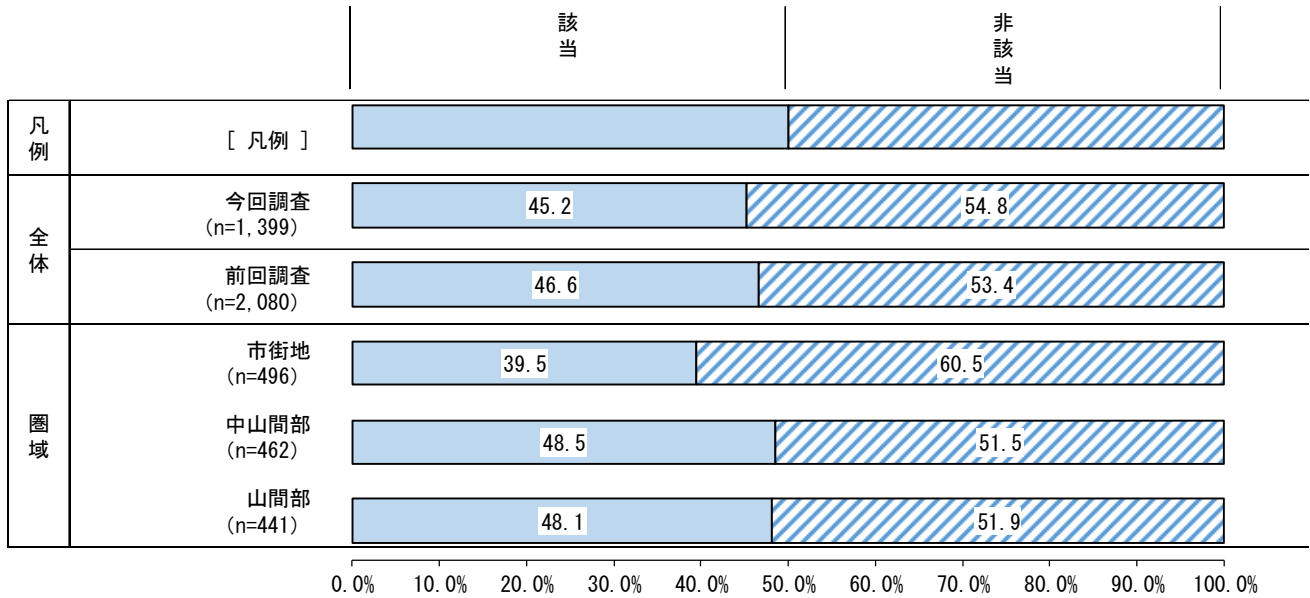
● 認知機能の低下リスク

以下の設問に対して該当する場合は、『認知機能の低下』のリスク該当者と判定している。

設問	選択肢
物忘れが多いと感じますか	はい

**【全体】**  
 ○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が45.2%、「非該当」が54.8%となっています。  
**【圏域】**  
 ○ 「該当」は市街地が39.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

**【認知機能の低下リスク】**



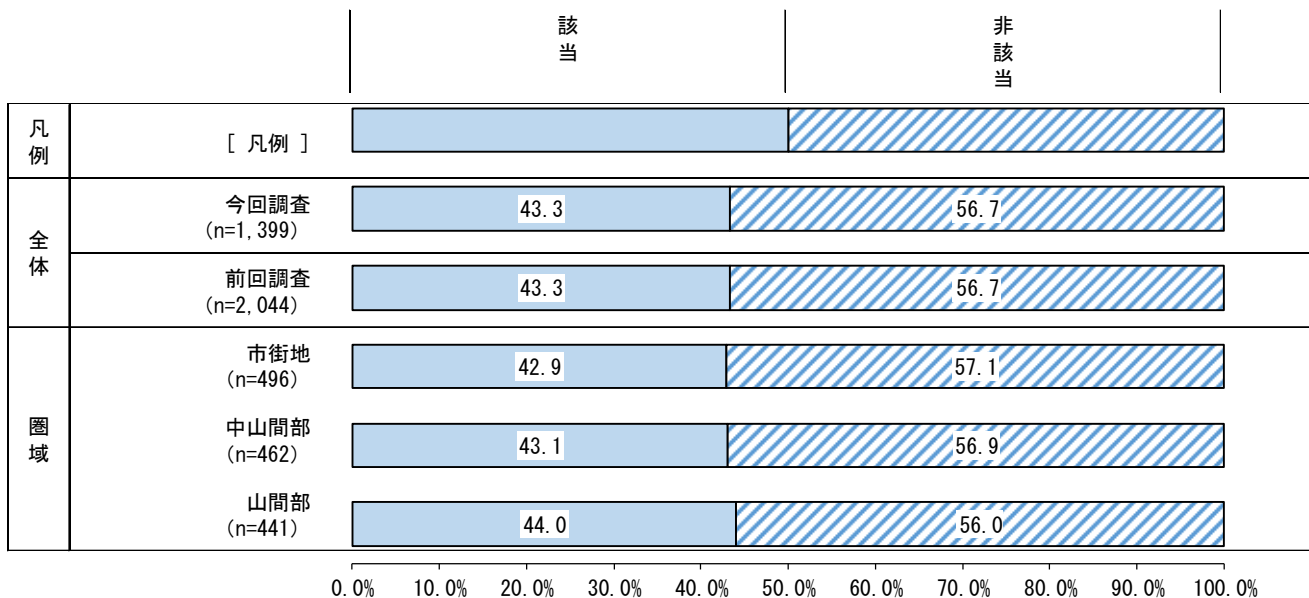
● うつのリスク

以下の設問に対して2問中いずれか1つでも該当する場合は、『うつ』のリスク該当者と判定している。

設問	選択肢
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	はい

**【全体】**  
 ○ うつのリスクについて、「該当」が43.3%、「非該当」が56.7%となっています。  
**【圏域】**  
 ○ 「該当」は山間部が44.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【うつのリスク】



### (3) 日常生活評価

#### ● IADL (手段的自立度)

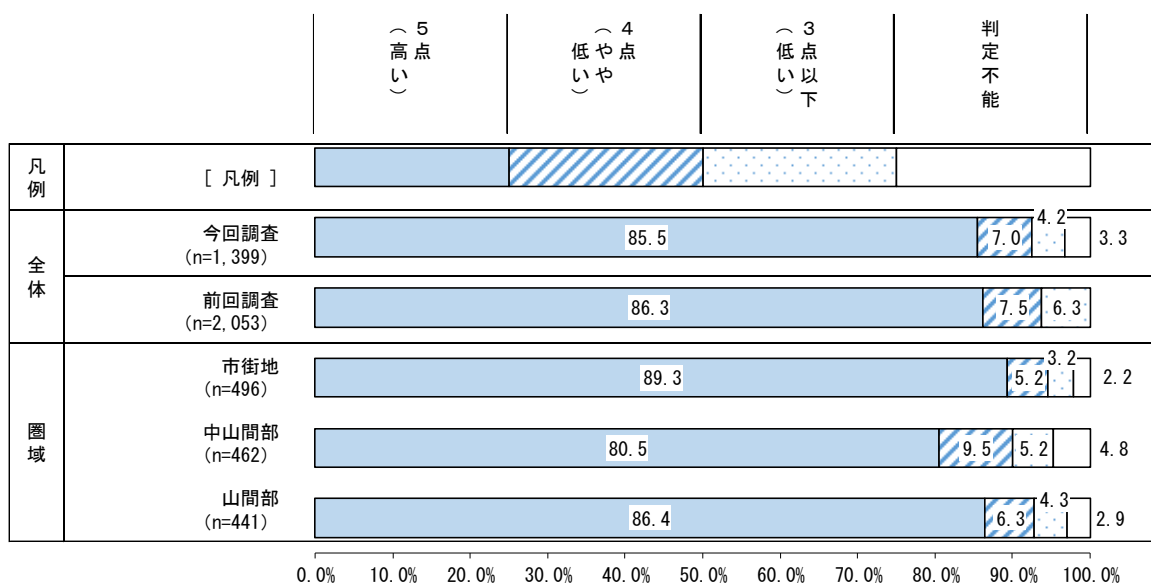
以下の設問を5点満点で判定し、5点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価。

設問	選択肢	配点
バスや電車で一人で外出していますか (自家用車でも可)	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で食事の用意をしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で請求書の支払いをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	できるし、している／ できるけどしていない	1点

※手段的自立度 (IADL) とは、『手段的日常生活動作』と訳され、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買い物や洗濯、掃除等の家事全般や、金銭管理や服薬管理、外出して乗り物に乗ることなどを指します。

<b>【全体】</b>
○ IADL について、「5点 (高い)」が 85.5%で最も多く、次いで「4点 (やや低い)」が 7.0%、「3点以下 (低い)」が 4.2%となっています。
<b>【圏域】</b>
○ 「5点 (高い)」は中山間部が 80.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

#### 【IADL】



#### (4) 社会参加評価

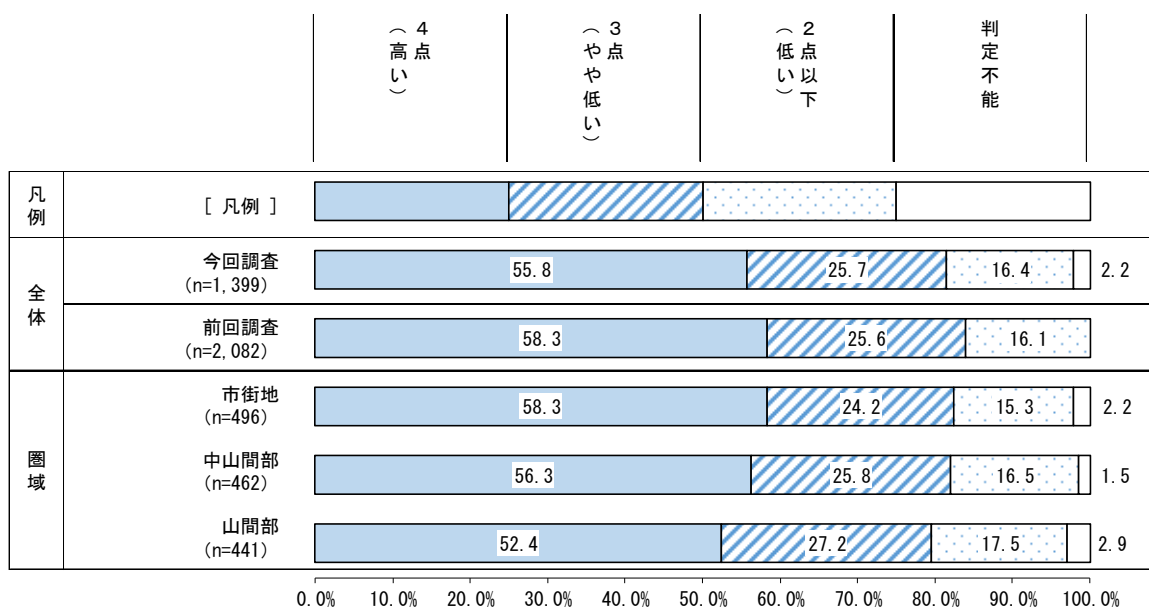
##### ●知的能動性

以下の設問を4点満点で判定し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価。

設問	選択肢	配点
年金などの書類が書けますか	はい	1点
新聞を読んでいますか	はい	1点
本や雑誌を読んでいますか	はい	1点
健康についての記事や番組に関心がありますか	はい	1点

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 知的能動性について、「4点（高い）」が55.8%で最も多く、次いで「3点（やや低い）」が25.7%、「2点以下（低い）」が16.4%となっています。</p> <p><b>【圏域】</b></p> <p>○ 市街地では「4点（高い）」が58.3%と他の区分に比べてやや多く、「2点以下（低い）」が15.3%とやや少なくなっています。</p>
---

【知的能動性】



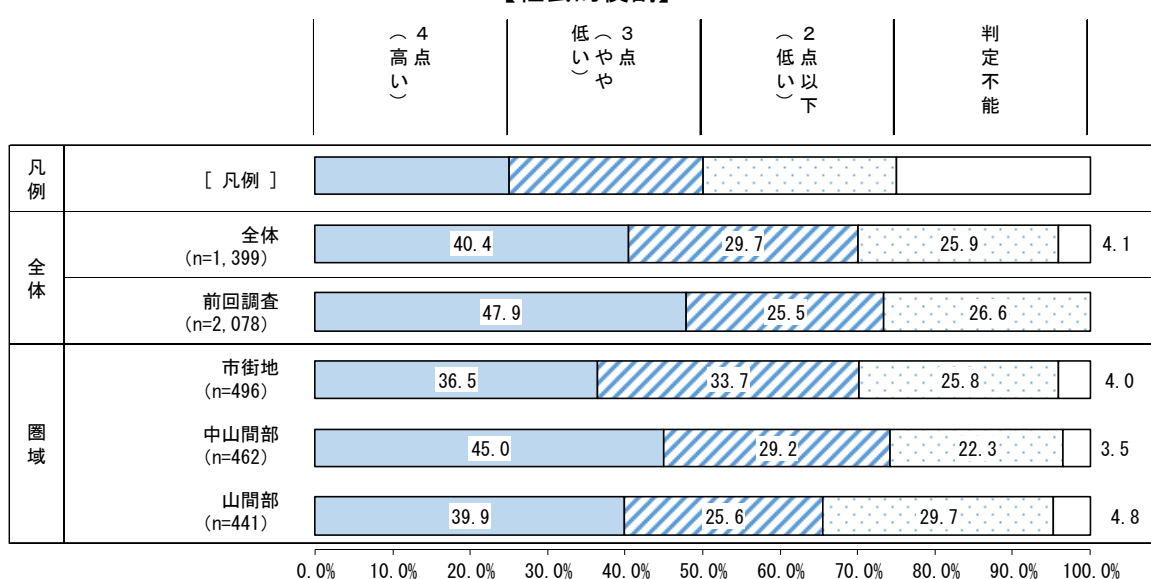
●社会的役割

以下の設問を4点満点で判定し、4点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価。

設問	選択肢	配点
友人の家を訪ねていますか	はい	1点
家族や友人の相談にのっていますか	はい	1点
病人を見舞うことができますか	はい	1点
若い人に自分から話しかけることがありますか	はい	1点

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 社会的役割について、「4点（高い）」が40.4%で最も多く、次いで「3点（やや低い）」が29.7%、「2点以下（低い）」が25.9%となっています。</p> <p><b>【圏域】</b></p> <p>○ 「4点（高い）」は中山間部が45.0%と他の区分に比べて多くなっています。</p> <p>○ 「2点以下（低い）」は山間部が29.7%と他の区分に比べて多くなっています。</p>
--

【社会的役割】

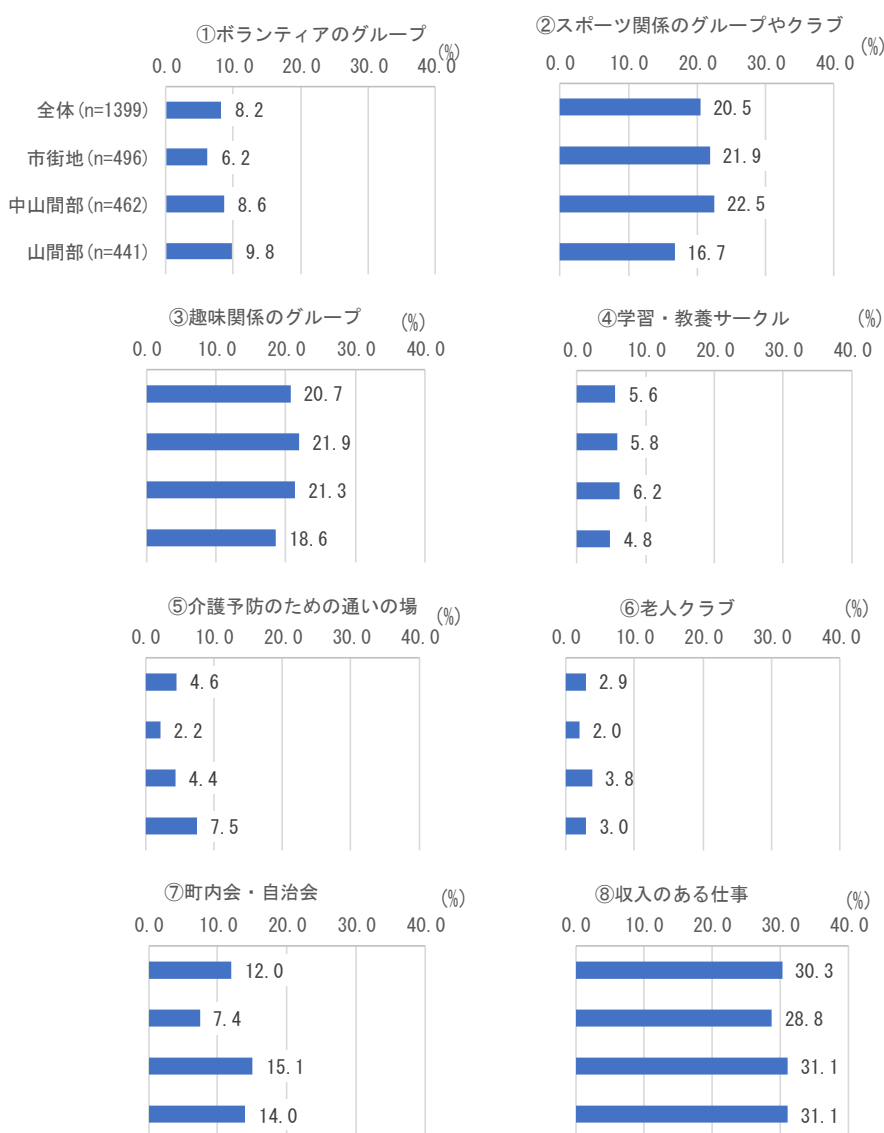


## (5) 地域の会・グループへの参加状況

- 問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(①～⑧  
それぞれ1つ)

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 月に1回以上の参加割合が最も多いのは、[⑧収入のある仕事]で30.3%となっています。</p> <p>○ [①ボランティアのグループ][④学習・教養サークル][⑤介護予防のための通いの場][⑥老人クラブ]では、月1回以上の参加が1割未満となっています。</p> <p><b>【圏域】</b></p> <p>○ 山間部では[②スポーツ関係のグループやクラブ]が16.7%と他の圏域に比べて少なく、[⑤介護予防のための通いの場]は7.5%と他の圏域に比べて多くなっています。</p> <p>○ 市街地では[⑦町内会・自治会]が7.4%と他の圏域に比べて少なくなっています。</p>
--

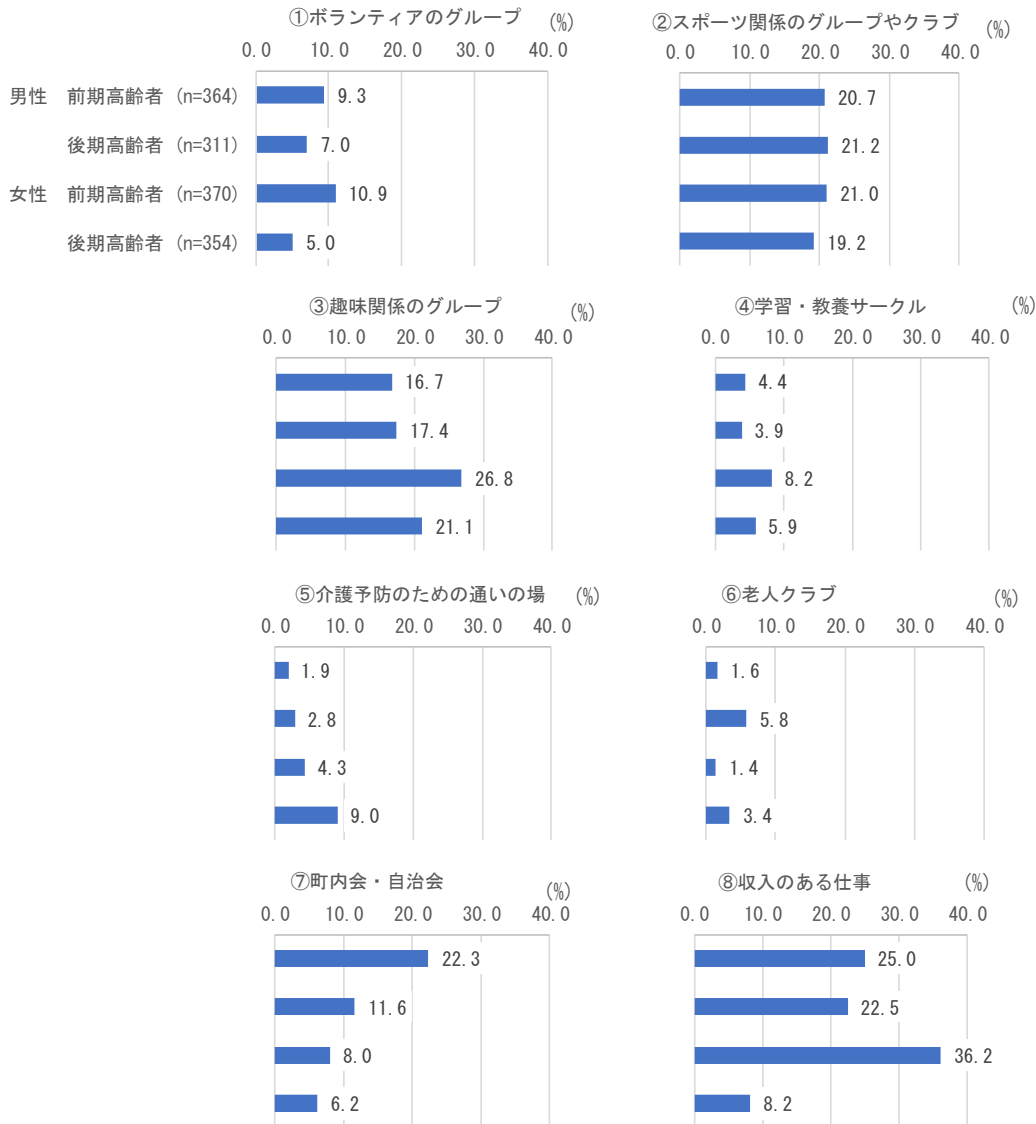
### 【会・グループへの参加頻度（全体・圏域）】《※月に1回以上参加している割合》



**【性・年齢】**

- 男性前期高齢者では〔⑦町内会・自治会〕が 22.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 男性後期高齢者では〔⑥老人クラブ〕で 5.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 女性前期高齢者では、〔①ボランティアのグループ〕〔③趣味関係のグループ〕〔④学習・教養サークル〕〔⑧収入のある仕事〕で他の区分に比べて月に 1 回以上の参加割合が多くなっています。
- 女性後期高齢者では〔⑤介護予防のための通いの場〕が 9.0%と他の区分に比べて多く、〔⑧収入のある仕事〕が 8.2%と他の区分に比べて大幅に少なくなっています。

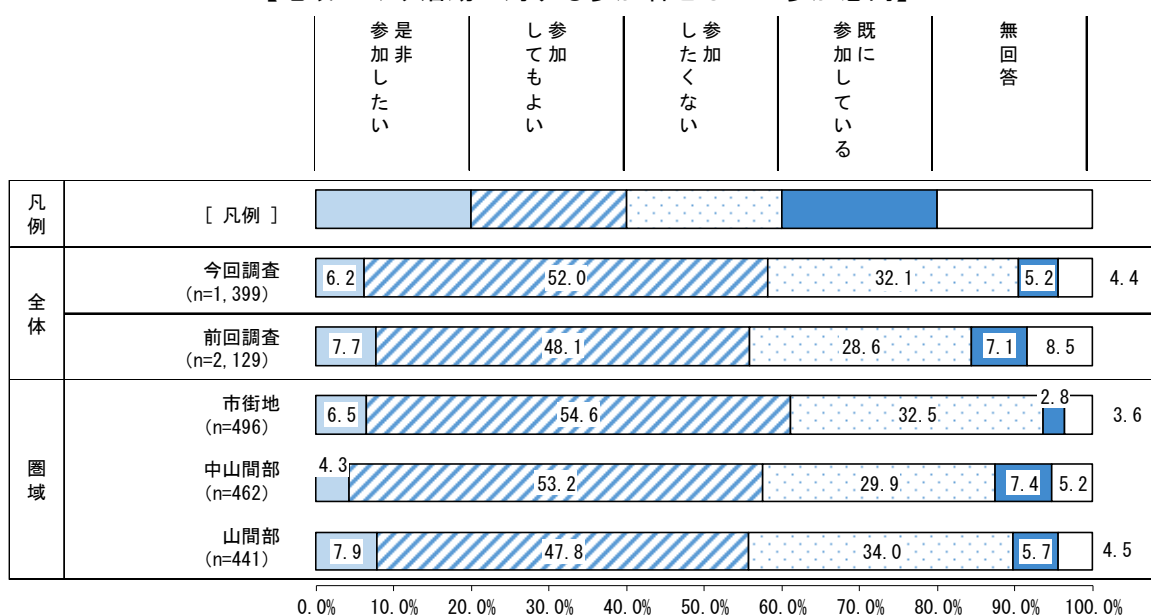
**【会・グループへの参加頻度（性・年齢別）】《※月に 1 回以上参加している割合》**



- 問5（2） 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。（1つだけ）

- 【全体】**
- 地域づくり活動に対する参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が52.0%で最も多く、次いで「参加したくない」が32.1%、「是非参加したい」が6.2%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせた“参加意向がある方”は58.2%となっています。
  - 前回調査に比べると、「すでに参加している」方の割合はやや減少し「参加したくない」の割合はやや増加していますが、“参加意向がある方”の割合はやや増加しています。
- 【圏域】**
- 「是非参加したい」は中山間部が4.3%と他の区分に比べて少なく、山間部が7.9%とやや多くなっています。
  - “参加意向のある方”は市街地、中山間部、山間部の順に多くなっています。

**【地域づくり活動に対する参加者としての参加意向】**



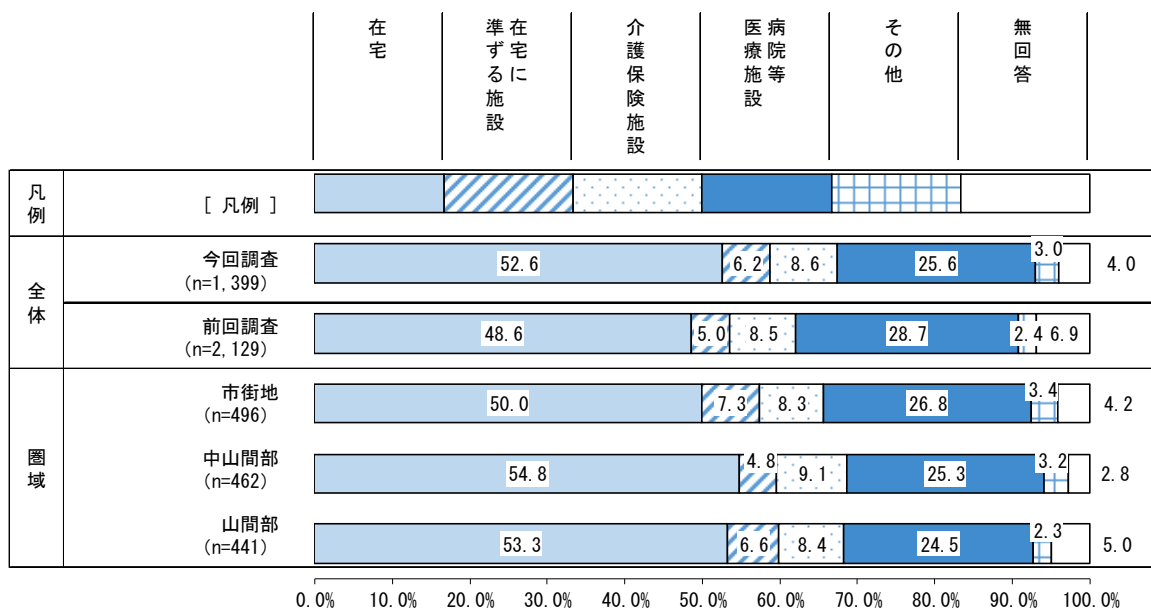


## (6) 終末期における療養場所の希望

- 問7 (9) 万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、最期はどこで迎えたいですか。

<p><b>【全体】</b></p> <p>○ 治る見込みのない病気になった場合、最後はどこで迎えたいかについて、「在宅（自宅・子ども家・兄弟親族の家等）」が52.6%で最も多く、次いで「病院等医療施設」が25.6%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）」が8.6%となっています。</p> <p>○ 前回調査に比べると、「在宅」は4ポイント増加しています。</p> <p><b>【圏域】</b></p> <p>○ 市街地では「在宅」が他の圏域に比べてやや少なくなっています。</p>
--

【最期を迎えたい場所】

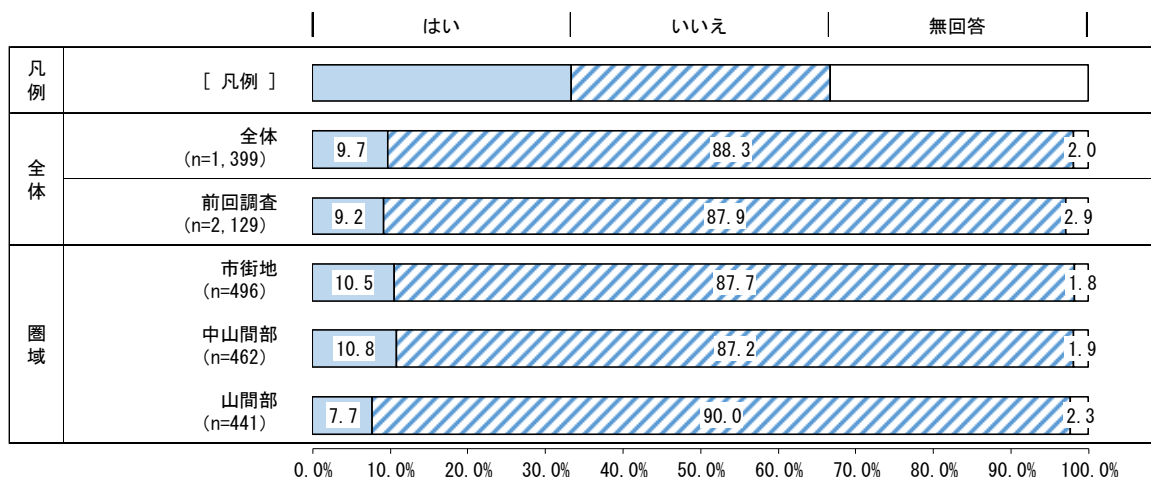


## (7) 認知症にかかる相談窓口の把握状況

### ●問8.1 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つだけ)

<b>【全体】</b>
○ 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状があるかについて、「はい」が 9.7%となっています。
<b>【圏域】</b>
○ 「はい」は山間部が 7.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

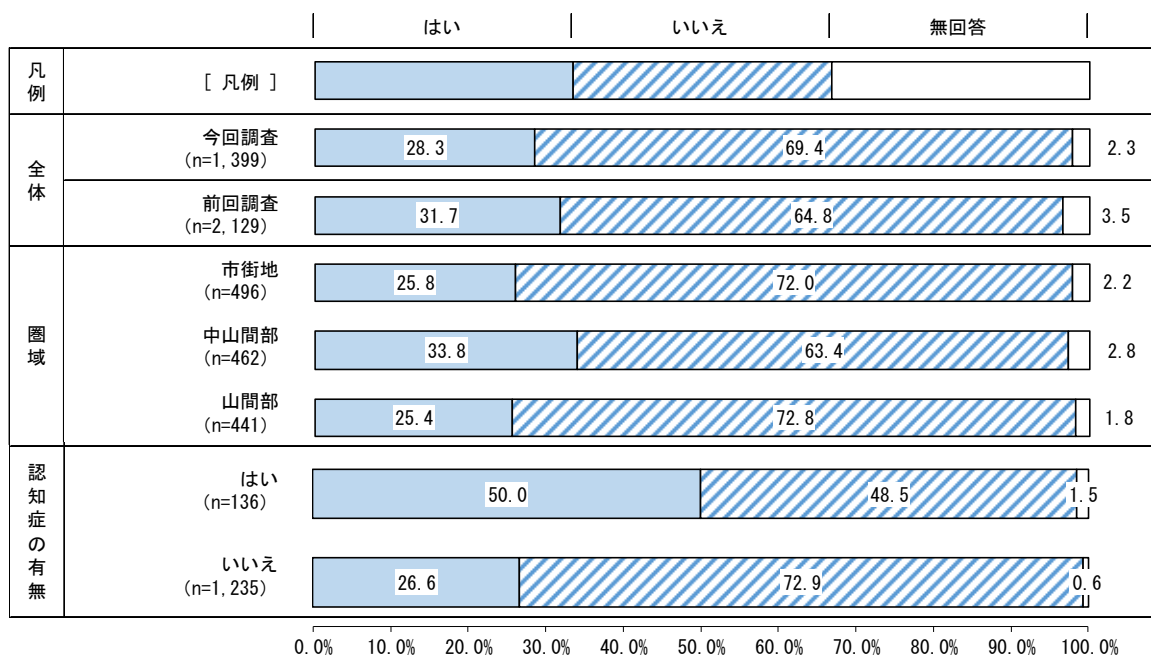
【自身や家族の認知症の症状有無】



### ●問8.2 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つだけ)

<b>【全体】</b>
○ 認知症に関する相談窓口の認知度について、「はい」が 28.3%、「いいえ」が 69.4%となっています。前回調査に比べると、認知症に関する相談窓口の周知状況はやや低下しています。
<b>【圏域】</b>
○ 「はい」は中山間部が 33.8%と他の区分に比べて多くなっています。
<b>【自身や家族の認知症症状の有無 (問 8.1)】</b>
○ 自身や家族に認知症症状のある人では、半数が認知症に関する相談窓口を知っていません。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】

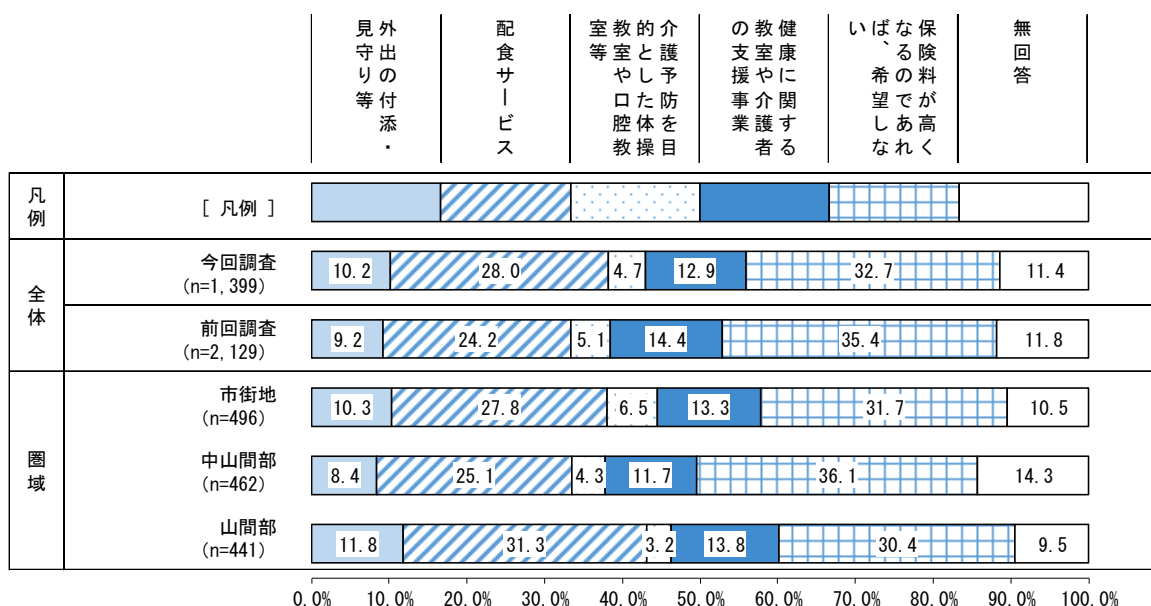


## (8) 保険料を財源としたサービスの希望

- 問9 (4) -2 施設や在宅サービスの量を増やすとしたら、最も希望するのはどのサービスですか。

<b>【全体】</b>
○ 亀岡市独自サービスについてについて、「保険料が高くなるのであれば、希望しない」が32.7%で最も多く、次いで「配食サービス」が28.0%、「健康に関する教室や介護者の支援事業」が12.9%となっています。
○ 前回調査に比べると、「配食サービス」は3.8ポイント多くなり、「保険料が高くなるのであれば、希望しない」は2.7ポイント少なくなっています。
<b>【圏域】</b>
○ 市街地では「介護予防を目的とした体操教室や口腔教室等」が6.5%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 中山間部ではそれぞれのサービスへの回答は他の圏域に比べて少なく、「保険料が高くなるのであれば、希望しない」は36.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 山間部では「配食サービス」が31.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【亀岡市独自サービスについて】

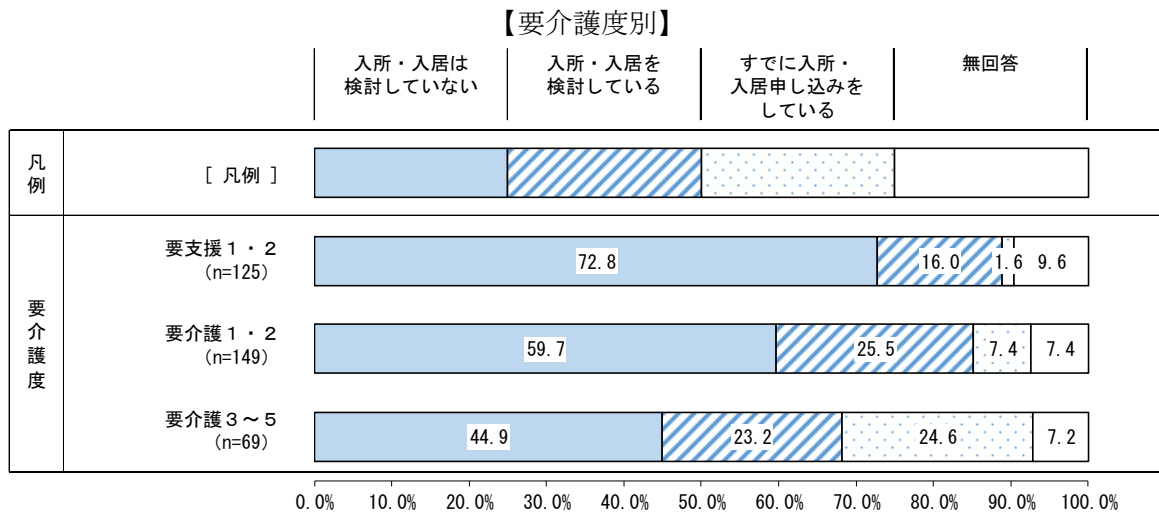


## 4. 調査結果（在宅介護実態調査）

### （1）施設等への入所・入居検討状況

#### ●問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況

○ 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、「検討中」は要介護1・2で25.5%、「申請済み」は要介護3以上で24.6%と最も多くなっています。



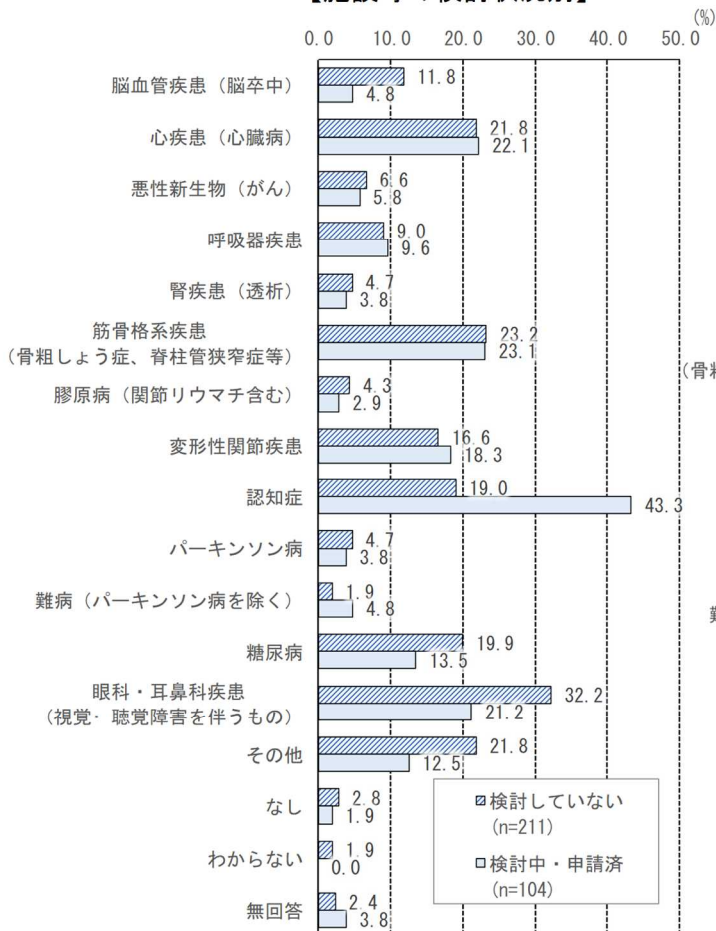
### （2）現在抱えている傷病

#### ●問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病

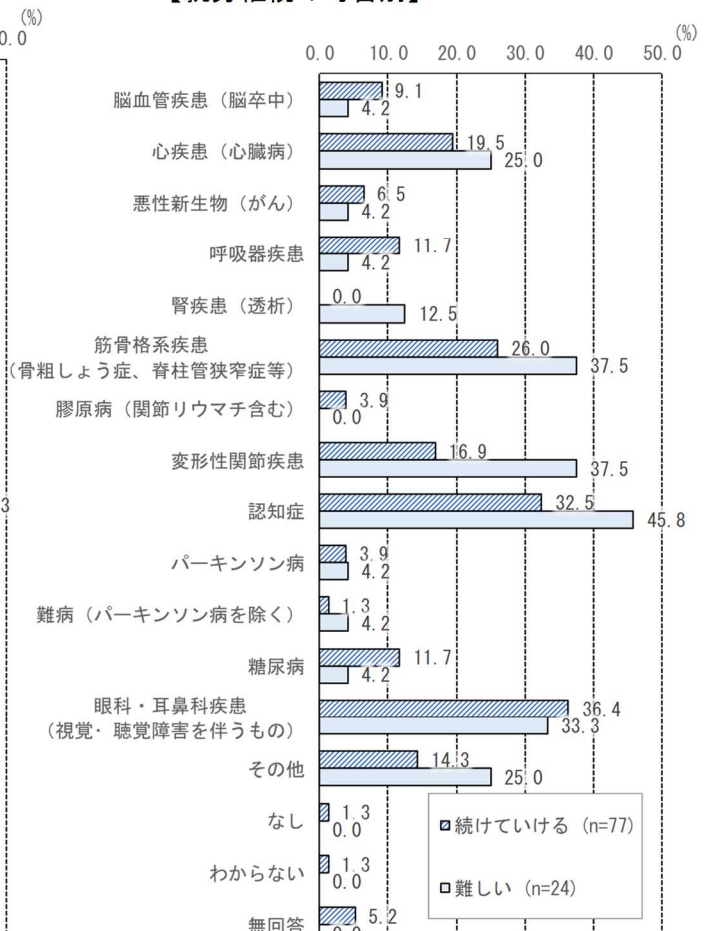
○ 施設等への入所・入居を検討中もしくは申し込み済の高齢者が抱える傷病としては、「認知症」が最も多くなっています。

○ 介護者が仕事を続けていくことが困難なケースにおいても「認知症」が最も多いですが、「筋骨格系疾患」も多くなっています。

**【施設等の検討状況別】**



**【就労継続の可否別】**

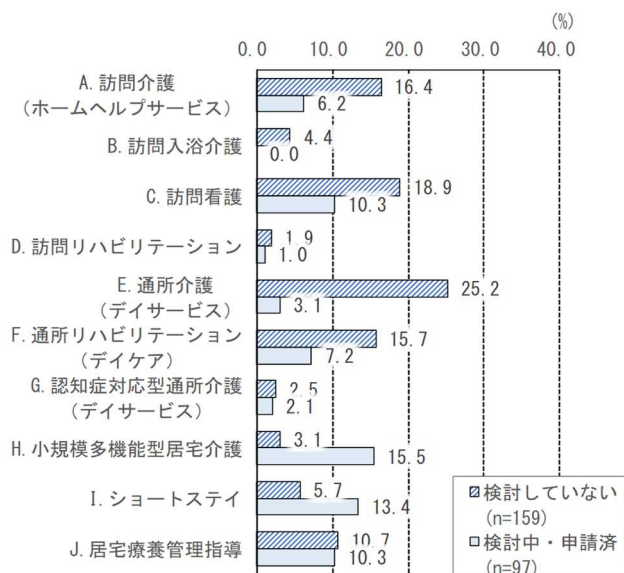


### (3) 介護保険サービスの利用状況

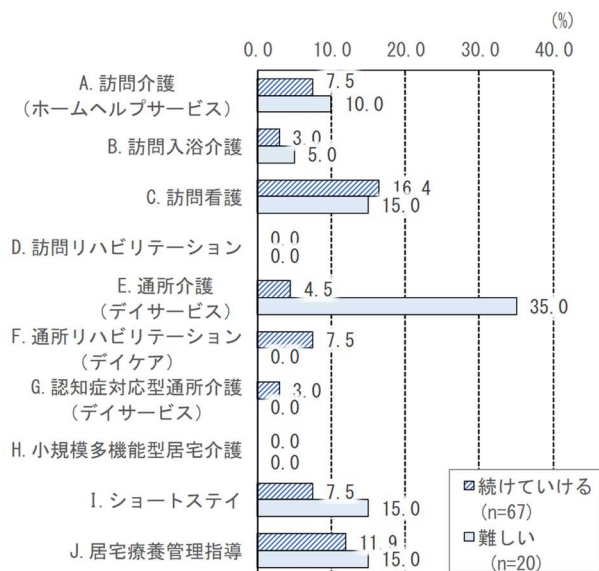
●問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス

- 施設等への入所・入居を検討していない高齢者では「E. 通所介護（デイサービス）」の利用が最も多く、検討中・申込済の高齢者では「H. 小規模多機能型居宅介護」の利用が最も多くなっています。
- 介護者が就労を続けていける高齢者では「C. 訪問介護」が、就労継続が難しい高齢者では「E. 通所介護（デイサービス）」が最も多くなっています。

【施設等の検討状況別】



【就労継続の可否別】

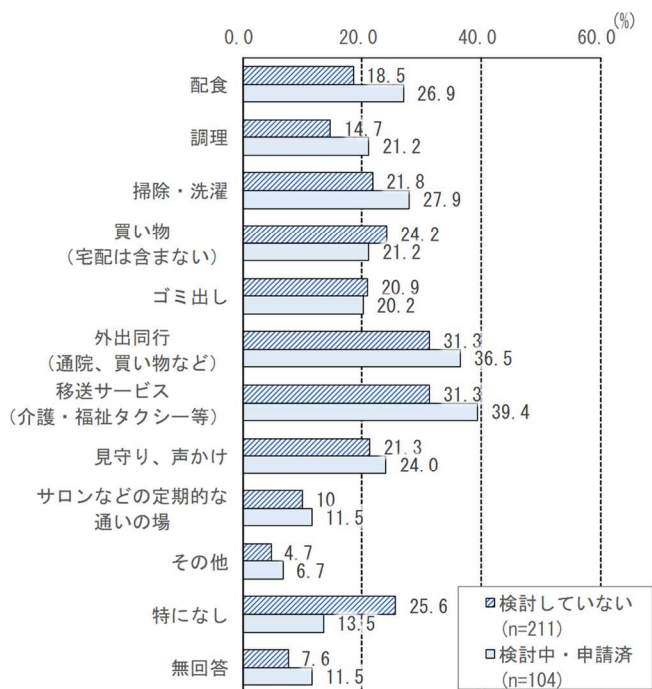


### (4) 在宅生活の継続に必要な支援・サービス（介護保険以外）

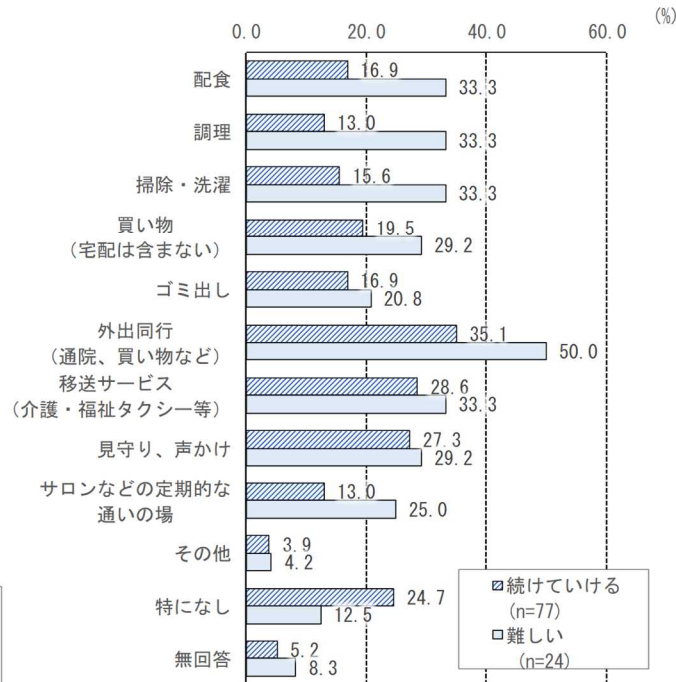
●問9 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）

- 施設等への入所・入居を検討状態にかかわらず、「外出同行」「移送サービス」が多くなっています。
- 介護者の就労継続可否に関わらず「外出同行」が最も多いですが、継続が難しい高齢者では50.0%と特に多くなっています。

【施設等の検討状況別】



【就労継続の可否別】

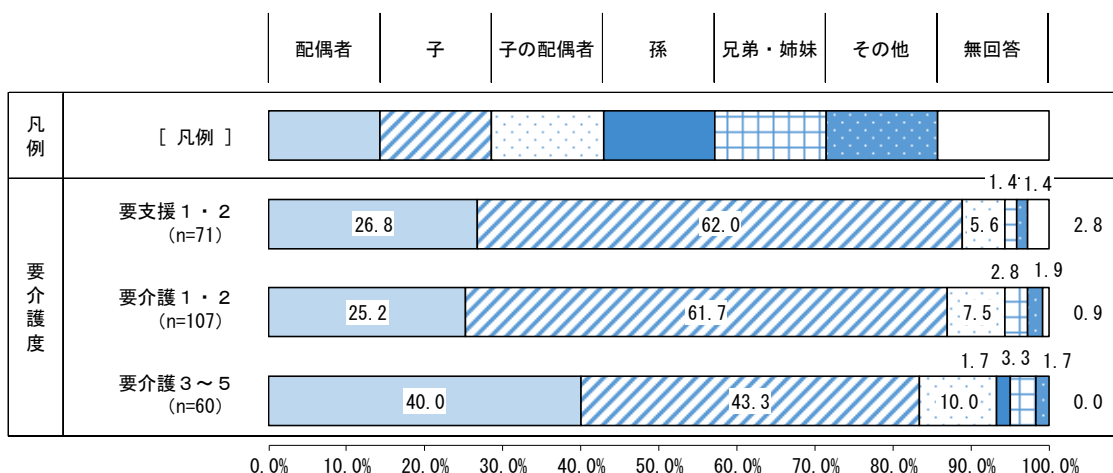


## (5) 主な介護者の続柄

### ●問3 主な介護者の方

- 要支援1・2～要介1・2では「子」が6割を超えています。
- 要介護3～5では、「配偶者」「子」がそれぞれ約4割となっています。

【要介護度別】

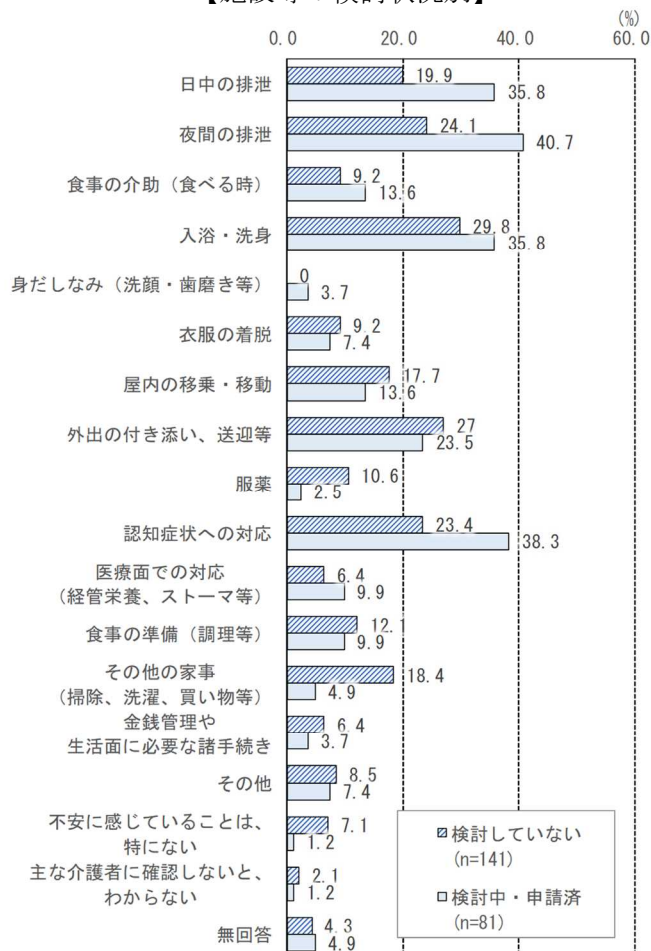


## (6) 主な介護者が不安に感じる介護内容

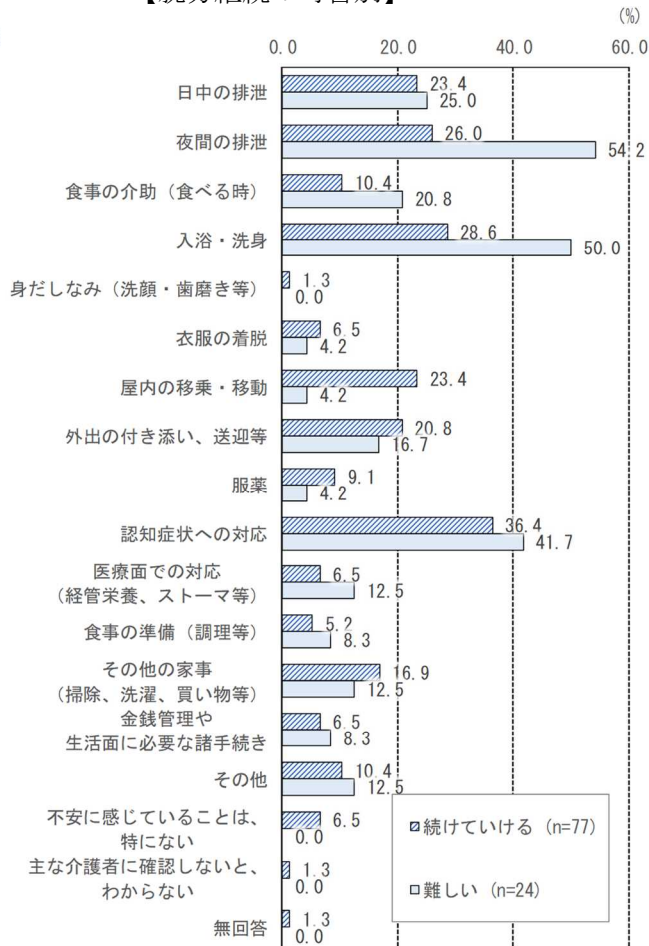
### ●問3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安に感じる介護等

- 施設等への入所・入居を検討中・申請済みの高齢者の介護者では、「日中の排泄」「夜間の排泄」「認知症状への対応」の回答が多くなっています。
- 就労継続が難しい介護者では、「夜間の排泄」「入浴・洗身」「認知症状への対応」が多くなっています。

【施設等の検討状況別】



【就労継続の可否別】

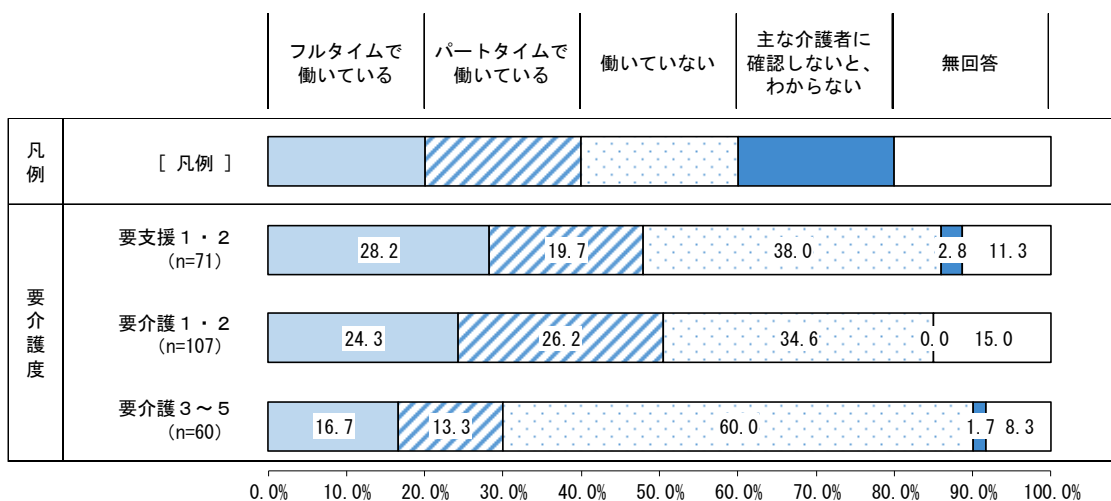


## (7) 主な介護者の勤務形態

### ●問1 主な介護者の方の現在の勤務形態

- 要介護度が上がるほど、「フルタイムで働いている」が少なく、「働いていない」が多くなる傾向がみられます。

【要介護度別】

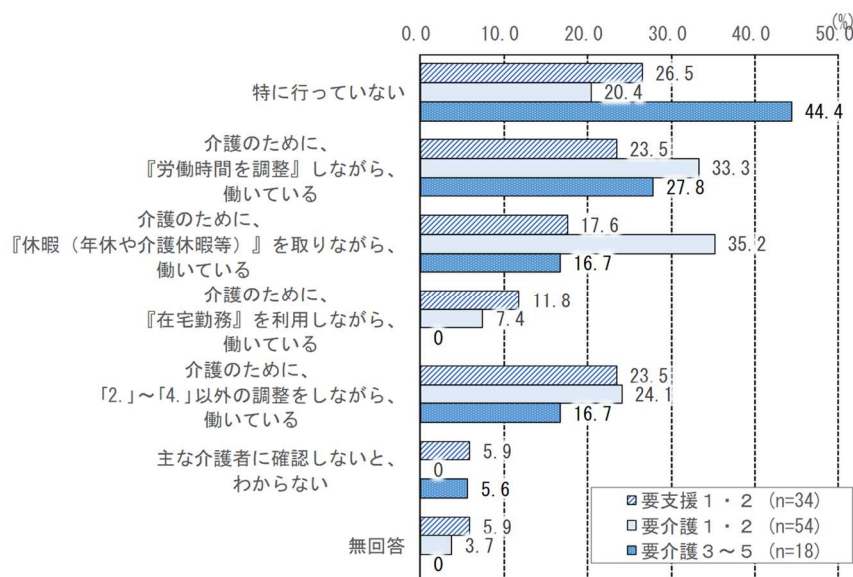


## (8) 介護による働き方の調整

### ●問2-1 主な介護者の方が介護をするにあたってしている働き方についての調整等

- 要介護3～5では、「特に行っていない」が44.4%で最も多く、他の介護度に比べても多くなっています。
- 要介護1・2では、『労働時間の調整』『休暇』が多くなっています。

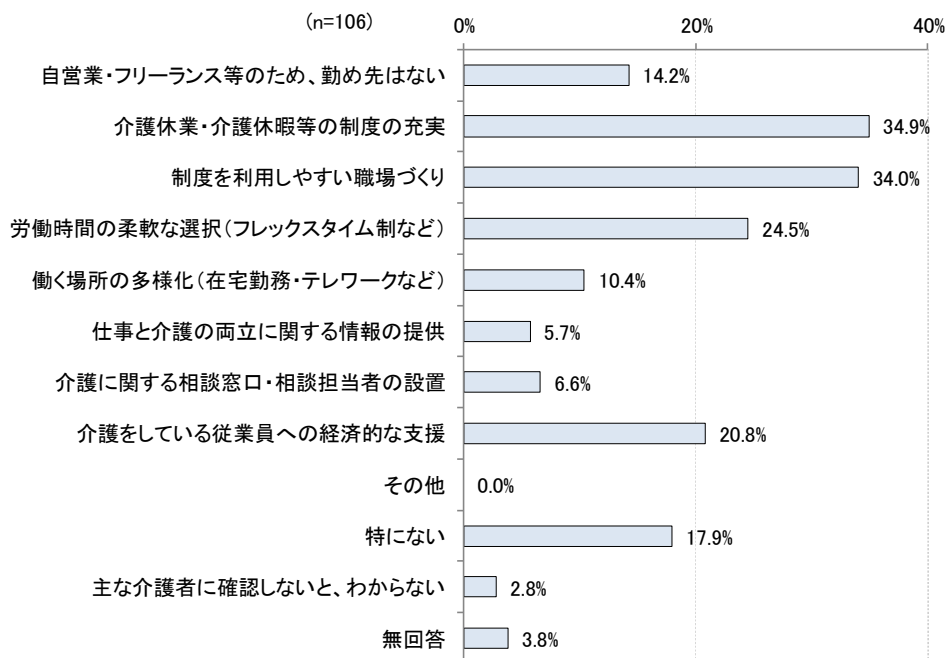
【要介護度別】



## (9) 仕事と介護の両立に効果がある支援

### ●問2-2 主な介護者の方が仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援

○ 仕事と介護の両立に効果のある支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が34.9%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が34.0%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が24.5%となっています。



## (10) 仕事と介護の両立の可否

### ●問2-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうか

○ 仕事と介護の両立の可否について、「問題はあるが、何とか続けていける」が58.5%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が14.2%、「続けていくのは、やや難しい」「続けていくのは、かなり難しい」がそれぞれ11.3%となっています。

